

側溝蓋用埋設型枠

「KCフォーム」

建技審証 0329号

1. 技術の概要

「KCフォーム」は、既設の道路用側溝の蓋を現場打ちコンクリートで製作する際に捨て型枠として用いられるもので、耐アルカリガラス繊維で補強した工場製作のセメント（GRC）板である。「KCフォーム」は、側溝の蓋掛り部に落とし込むだけで型枠として使用できる。薄くて軽量で取り扱いが簡便であり、かつ、型枠として必要な強度と剛性を有する。また、コンクリートが硬化した後は、「KCフォーム」とコンクリートは強い付着力で一体となり、鉄筋のかぶりの一部としての機能を果たす。

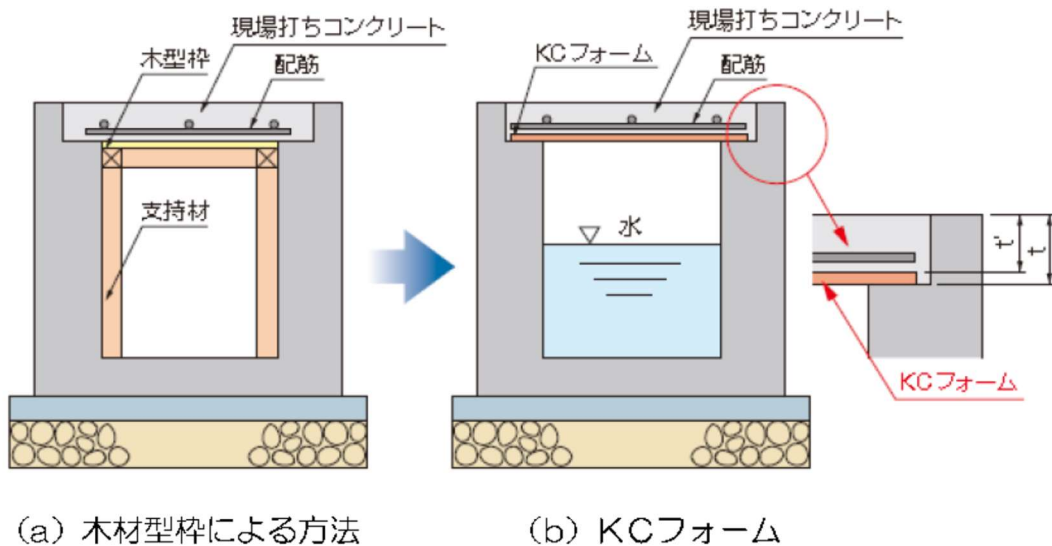


図-1. 1 KCフォームの概要

2. 技術の特徴

◎施工性に優れる

施工が容易（支持工事不要）で、しかも通水中でも工事が出来るため、他の暗渠化工法と比較して工期が短縮できる。

◎高い曲げ強度と剛性

素材にGRCを使用している為、高い曲げ強度と剛性を持っており、又、ダイヤモンドカッターによる現場加工も容易である。

◎コンクリートとの付着が良い。

コンクリートとの付着が良く、コンクリート蓋の鉄筋かぶりの一部として機能し、側溝と一体化されることにより、落蓋等で発生する振動音を防止できる。

3. 審査証明の結果

- ・「KCフォーム」による型枠敷設工は、木材型枠を使用する従来工法に比べ、熟練技術を必要とせず、かつ、施工が大幅に簡便化される。
- ・「KCフォーム」は側溝用蓋の型枠として必要な強度と剛性を有する。
- ・「KCフォーム」を用いた鉄筋コンクリート蓋は、曲げ荷重を受けたとき、「KCフォーム」とコンクリート蓋が一体として機能する。
- ・「KCフォーム」を用いた鉄筋コンクリート蓋は、従来の現場打ち方法と同等、あるいはそれ以上の鉄筋腐食防止性能を有する。

4. 技術の適用範囲

一般的な形状・寸法からなる道路側溝の蓋を現場打ちコンクリートで製作する際の捨て型枠として使用する範囲とする。

5. 主な実績

- 2019年度 42号大台管内維持修繕工事
- 2020年度 第12号県単道路（改良）工事（山下町）
- 2021年度 広野土地区画16号線道路改良工事
- 2022年度 国道222号吾田東区現場打側溝蓋設置工事
- 2023年度 星倉工区現場打側溝蓋設置工事

6. 技術保有会社

インフラテック株式会社
本社：鹿児島市与次郎2丁目7番25号
電話番号：099-252-9911

7. 審査証明実施期間

一般財団法人 土木研究センター

8. 審査証明期間

- 2004年3月31日
- 2009年3月31日 内容変更・更新
- 2014年3月31日 内容変更・更新
- 2019年3月31日 内容変更・更新
- 2024年3月31日 更新